



愛知工業大学
愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次:

年頭あいさつ	2
学科再編	3
大学入試	4
12号館	5
万博アクセス	5
スポーツ	6・7

発行所
名古屋電気学園
〒464-8540
名古屋市中千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0201

皆さんの創意と工夫に期待

後藤理事長が平成15年の年頭あいさつ

学生・生徒の環境整備実現目指し



年頭あいさつをする後藤理事長



①後藤理事長・学長の話に聞き入る
②学園職員③大学教職員

新しい年、平成15年の仕事が始まった一月七日、後藤淳学園理事長は午前九時から名古屋・若水の学園本部五階大会議室で、また午後一時半からは豊田市の大学A I Tプラザ三階で、幹部教職員らを前に今年の課題、方針、目標など恒例の「年頭あいさつ」で所信を述べられました。

学園本部での年頭あいさ

二〇〇二年秋 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました



県・市ダブル受賞の高校北校舎

学園創立90周年記念事業として建設された高校新校舎・北校舎が、平成14年度の第19回名古屋都市景観賞と愛知県第10回まちなみ建築賞をダブル受賞しました。建築物として周囲の景観にマッチしていると評価されたもので、「いれもの」の素晴らしさが認められた

県・市のダブル受賞に輝く

景観も評価された高校・北校舎

つで後藤理事長は「少子化時代に、どれだけ若者たち

の目を引きつけられるかが重要です。学生生活のレベルアップなど、自分に与えられた役割や使命を自覚し、学園を支えているという自負心を持って新しい取り組みを進めてほしい」と話されました。(2ページに理事長の年頭あいさつ)

訳です。今後は中身の充実を求められることになります。名古屋都市景観賞は、

都市景観に対する関心を高めるため昭和59年に制定されました。今回の応募作品は一二八件で、この中から、北校舎など計五件が選ばれました。
愛知県のまちなみ建築賞は、五年以内に建築された建物を対象に平成五年度に創設されました。今回は例年より約四十件多い一五九物件の応募があり、北校舎は七件の中に入りました。表彰式は市が昨年十二月十一日に市公館、県が今年一月二十八日に愛知芸術文化センターで行われ、後藤理事長らが出席しました。

学園の発展に尽くす 平成14年度後藤鉦二賞 柴山、久野、桐田氏が受賞



教育、スポーツの振興など、学園の発展に寄与した人に贈られる後藤鉦二賞の平成14年度受賞者が決ま

り、故後藤鉦二前理事長の命日・一月二十二日に、名古屋・若水の学園本部五階で授賞式が行われました。写真は式後の記念撮影。
今回の受賞者は、大学基礎教育センター総合教育教室・柴山茂夫教授(70)、大学工学部機械工学科・久野精市郎教授(70)、高校吹奏楽部顧問・桐田正章教諭(49)の三氏で、後藤理事長から賞状と副賞などが贈られました。(2ページに受賞者のプロフィールを掲載)

後藤理事長の年頭あいさつ

明けましておめでとうございませう。二〇〇二年秋、おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました。前夜に降った雪の影響で、道路が凍って、初出の出勤をくじかれた人が大勢出たようです。厳しい出発は、緊張してかえっていいのかもしれない。さて昨年は学園創立90周年と愛知工業大学情報電子専門学校設立10周年を迎え、皆様のお陰で周年記念行事を無事終了することができました。あらためて厚く御礼申し上げます。昨年の出生数は一一五万余人。数年前から叫ばれてきた18才人口の減少が、いよいよ現実のものとなってきました。平成14年の一五〇万人が、平成21年には一一一万人まで減少する予想です。そしてその年には大学進学希望者と大学募集人員とが一致する、いわゆる「全入時代」が来るといわれています。来年は国立大学の法人化が実現し、大学は過当競争の時代に突入します。こうした環境の変化にどう対応していくのかという視点から、今年も新年早々から大学に関する新聞記事が目につきます。

ある国立大学では、本年一月末に全学部ほぼ全ての授業で学生による5段階の授業評価を実施。結果は教官名を含めて科目毎に公開し、今後は前、後期の年二回ペースで続けるそうです。愛工大では既に平成8年から、学生による授業評価を実施していますが、昨年末、初めて大学のホームページで平成14年度前期授業評価の結果を公開しました。今後は年二回、前期、後期の授業評価を公開し、授業の改善に役立てていきます。また大学で現在建設中の12号館は、今年三月末完成しますが、その地下階に「ものづくり工房」を開設します。工業大

学生・生徒の授業や生活環境の整備推進

皆さんの創意工夫で実現を！

学にふさわしいものづくりの実践の場として、大いに活用して貰いたいと思います。

また一階には、エクステンションセンターを1号館から移転・開設し、そのあとに四月から「学生支援センター」をオープンさせます。「学習支援」をはじめに近い将来、学生の生活、学資、カウンセリング、資格取得、就職に関する相談など、学生に対する全般的な支援活動を展開していく予定です。また平成16年度からは、学生の教育に対する多様なニーズに因應するため、大学の学科再編を行う予定で準備を進めています。

一方中学、高校、大学、専門学校と一緒に学園の将来像を模索し、中高一貫教育や大学を含めた中高大一貫教育プログラムを検討し、社会に役立つ人材の育成に努めていく考えです。学園創立90周年事業の一環として一昨年八月に建設した高校北校舎が、昨年末に「名古屋都市景観賞」を受賞、今年一月には県の「愛知まちなみ建築賞」も受賞します。これからはこれらの賞に恥じないよう、新校舎建設前から検討してきた「情報」を柱としたカリキュラムの実現や、中高一貫教育の充実などさらなる内容の発展に努めなければなりません。そして今年も工業課程の見直し、来年度からの新課程移行に向けた中学を含む学科やコースの見直しが行われます。

いよいよ平成15年度の学生、生徒を迎え入れる入試シーズンが本格化します。どれだけ若い人たちが我が学園に目を向けてくれるのか、過去一年間の努力の成果が試される時です。各設置校が独立採算の経営体であるとの認識のもと、教員や事務職員の皆さんが自分に与えられた役割や使命を十分自覚し、自らの手で学園ならびに設置校の発展に寄与されるようお願いし、年頭のあいさつといたします。

平成14年度後藤鉀二賞受賞者のプロフィール



◇桐田 正章氏◇
平成九年四月から高校に勤務して頂き、以来音楽教

育の充実と発展に大きく貢献しておられます。総勢一三〇名の吹奏楽部を率い、早朝から夜遅くまで、熱心で献身的な行動と卓越した指導力により全日本吹奏楽コンクールや全日本マーチングフェスティバルで金賞、銀賞を獲得するなど短期間で多大な業績を残してこられました。

平成14年度後藤鉀二賞受賞者のプロフィール



◇久野精市郎氏◇
大学工学部機械工学科の草創期から勤務され、現在

の基礎を築かれました。その後も永年にわたり、学生の指導に情熱をもって当たられるとともに、若い教職員への育成にご尽力されました。また二期四年間、大学第二部の主事として、その管理・運営に常に誠実な姿勢で臨まれ、学生や教職員から厚い信望を得ておられます。



◇柴山 茂夫氏◇
学園での勤務が四十六年となり、特に大学の草創期

から大学の発展に尽くしてこられました。教育心理学や心理学を中心とした研究を深められるとともに、一般教養科目と就職課程を担当して学生の指導に当たられ、多くの人材を育ててこられました。また、数々の要職を経験され、本学の組織充実に多大な尽力をされました。

二〇〇二年秋 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました

二〇〇二年秋 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました



16年度から学科を再編 大学 10学科→6 学科12専攻

知能機械、建築環境など新たに

教育・研究の学際化・広域化と先端技術の専門化に 대응するため、愛知工業大学は平成16年度から学科を再編する方針です(4月に文部科学省へ申請予定)。これまでの2学部10学科を2学部6学科に統合・再編し、12専攻を設けることで、学生は専門横断的な学習機会が増えることとなります(㊦のチャート図を参照)。カリキュラムや入試科目など、細部については今後、さらに検討を重ねていく予定です。なお、2月14日(金)午後2時から、名古屋駅前のキャッスルプラザホテルで東海4県の高校長や進路指導担当の先生らを対象に、説明会を開きます。

姉妹提携校の東南大(中国・南京市)の顧冠群学長ら代表団六人が、昨年十一月に来日しました。一行は十二日に来学、施設見学のあと、今後の交流計画について学科や時期など詰めめの協議をしました(写真㊦)。

一方、袁久紅団長ら十二人の学生団も十月二十五日から一週間来日、大学では幹部と懇談したり施設を色々見て回り、近くのトヨタ自動車では工場見学もしました。関西方面を見学旅行した後、二十九日には名古屋ガーデンパレスでの学生交流会に参加。本学の学生訪中団員や中国からの留学生らと歌やゲームに興じていました(写真㊧)。

代表団・交流計画など協議 施設見学や関西旅行・学生団



深まる東南大との交流

賞	高校名	テーマ	
自然科学部門	最優秀賞	日進西	放射線による種子への生育変化と突然変異に関する研究(その1)
	最優秀賞	加茂	美濃加茂市におけるヒートアイランドと要因
	最優秀賞	豊橋東	土壌生物の採集と観察-生態系における分解者として-
	優秀賞	一宮	2001しし座流星群観測結果~2002ペルセ群との比較
	優秀賞	岐阜	岐阜県内に生息するヘビ類の食性に関する研究
	優秀賞	浜松南	細胞性粘菌の生態
	優秀賞	一宮工業	「赤トンボのふる里探し」アキアカネの移動の調査
	奨励賞	津島	学校周辺の松枯れ実態調査
	奨励賞	津島	散乱された光の色の偏りの研究
	奨励賞	国府	フェーリング溶液における銅の析出
奨励賞	佐屋	アカミミガメの北限を探せ	
ものづくり部門	最優秀賞	四日市中央工業	相撲ロボット 優勝マシンの製作
	最優秀賞	刈谷工業	「段差を楽に乗り越える車イスの研究製作」(段差車イス5・6号機)
	優秀賞	東海南	羽ばたき飛行機の製作による生物の飛行の再現
	優秀賞	愛知工業	ロボットの製作-人間型遠隔操作ロボット(上半身)-
	奨励賞	関	鳥の骨を利用した恐竜の骨格標本製作からの考察II
	奨励賞	豊橋工業	多重音階発生装置の製作
奨励賞	常滑北	打楽器の製作とその演奏	

AIITサイエンス大賞 各賞の受賞研究を紹介

学園の創立90周年を記念して制定されたAIITサイエ



エンズ大賞(愛知、岐阜、三重、静岡県教委後援)は、昨年十一月十六日に研究発表会が開かれて大賞五件など第一回の各賞が決まりました。しかし、昨年末発行の90周年記念特集号では、スペースの関係で受賞研究のテーマなどを詳しくご紹介出来ませんでした。改めて、結果をお知らせします。

一月十八、十九日の二日間、大学10号館を会場に大学入試センター試験が行われ

センター入試でシーズン開幕！ 愛工大会場では1200人が「春」目指す

	試験の種類	定員	出願期間	試験日	合格発表
一般	前期日程一般	695	1月7日～1月21日	1月30～2月1日	2月7日
	前期日程奨学生	20	1月7日～1月21日	1月31日	2月7日
	中期日程一般	124	2月3日～2月12日	2月18日	2月22日
	後期日程一般	50	3月1日～3月7日	3月15日	3月20日



10号館で行われたセンター入試

		卒業(園)式		入学(園)式	
名古屋電気学園	大学	3月24日(月)午前10時・鉦徳館	4月5日(土)午前10時・鉦徳館		
	高校	3月1日(土)午前9時・喬徳館	4月7日(月)午前9時・喬徳館		
	中学	3月15日(土)午前10時・愛名館	4月7日(月)午前10時・愛名館		
	専門学校	3月19日(水)午前10時・学校	4月8日(火)午前10時・学校		
愛和学園	専門学校	3月18日(火)午前10時・学校	4月10日(木)午前10時・学校		
	幼稚園	3月15日(土)午前10時・園	4月4日(金)午前10時・園		

れ、約千二百人が志望校目指して問題と取り組みました。愛工大の一般入試日程は上の表の通りです(網掛けは既に終了)。

◇学園関係各校(園)の卒業、入学式日程表



連携大学院で提携した豊田中央研究所正面

幅広い研究を進めている民間企業の貴重な人材を講師に委嘱、講座などを担当していただくことで、大学院の教育・研究に新しい空気を吹き込むとともに、大学院教育の充実、大学と企業双方の発展に役立てて行こうと、愛知工業大学はこのほど、株式会社豊田中央研究所(中研・愛知郡長久手町長湫、高橋理一所長)と「連携大学院に関する協定」を結びました。

協定の内容は、大学が豊田中研に大学院の客員教員を委嘱。講義や演習を担当

教員委嘱や産学共同研究

豊田中研と連携大学院協定結ぶ

していただく一方、客員教員にも中研での研究業務に学生を参加させて研究指導

初の若手表彰に宇佐見君ら 第15回エラストマー討論会 2日間に全国から延べ300人



「若手表彰」を受けた宇佐見恭浩君の研究発表

し、スムーズな研究が出来るようにするものです。

四月の新学期開講を目標に、派遣していただく客員教員の人選や担当講座、取得単位、開講期間など詰め作業が進んでいます。

るため、今回の研究発表会で初めて「若手表彰」が行われ、本学大学院修士課程(材料工学専攻)二年、宇佐見恭浩君の「脂環式ジオールを用いた熱可塑性ポリウレタンエラストマーの物性」など四研究が受賞しました。宇佐見君の研究を指導したのは、稲垣慎二、山田英介両教授です。

◇外国人来日研究に助成

大幸財団(永澤満理事長)は、愛知工業大学工学部情報通信工学科・内田悦行教授の「ナノ領域知能制御機器へのコヒーレント光応用技術に関する研究」に、平成15年度外国人来日研究として一〇〇万円の助成を決めました。インド国立物理学研究所のビジヤイ・トリンバック・チトニス顧問が4月から半年間来日、内田教授と共同研究します。

学生生活のバックアップとサービステ体制をさらにバージョンアップします

四月に学生支援センター開設へ 大学 Eセンター跡に悩みごと相談窓口



4月に開館する12号館

地下一階に「ものづくり工房」(仮称)を備えた大学12号館は、四月開館へ向け

て順調に建設が進められています。地上部分の一階にエクステンションセンターが入り、その跡は「学生支援センター」として利用されることになりました。学習だけでなく、生活上の悩みなどについてもベテラン職員らが適切、総合的なアドバイスが出来る体制を

討中です。また、自由な談話の場・学生サロンとしても活用する予定です。

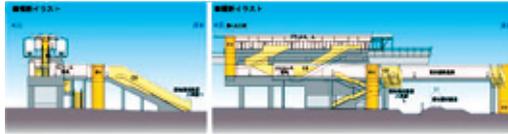
テーマは「花火」

10月18・19日に愛工大大学祭
献血でイベントスタート



を展開していくことを決めました。「一瞬の美しさために、多くの人が力を合わせる」がそのコンセプトだそうです。イベントは例年同様、各種コンテストやステージ、コンサートなどを予定、細かな内容についてはこれから詰めていくことにしています。
大祭イベントの第一陣、冬の献血が一月十六日と十七日に実施されました。二日間、百三十七人が、二百四十リットル、成分などの採血に協力しました。写真。

八草周辺の整備急ピッチ 愛・地球博の会場アクセス路 愛環鉄道は春に新型車両



イラストは愛知県名古屋東部丘陵工事事務所が1月時点として作成した「新八草駅」の

- ㊤予想断面図
- ㊦南西側から見た完成予想図



二〇〇五年の愛・地球博開幕へ向け、大学や海上の森会場に近い豊田市八草地区で、会場へ通じる道路や鉄道の整備が急ピッチで進

められています。東部丘陵線はHSST新型車両を発売してテストを続けています。愛知環状鉄道には三月中旬、新型車両がお目見えします。両鉄道が乗り入れる「新八草駅」の完成予想イラストを掲載します。

四十三回目を迎える秋恒例の愛工大大学祭は、実行委員会(坪崎充宏委員長)が今年のテーマを「花火」とし、十月十八、十九日の二日間をメインにイベント



愛環鉄道の新型車両



HSSTの新型車両

告知板

◇主な人事

【昇格・兼務】(1月16日)

(学園)事務局次長兼総務部長とする(総務部長) 西井松生

◇春の甲子園出場ほぼ確実 第55回秋季東海地区高校野球大会が昨年10月26日～11月3日、静岡県の草薙、島岡両球場で開かれました。第75回選抜高校野球大会の出場校選出の参考にされるこの大会は、4県大会1～3位の計12校が出場。愛知2位の愛工大名電は、準決勝で岐阜1位の中京に4-6で敗れました。しかし、中京が神宮大会で優勝して東海の出場ワクが1校増え、選抜出場はほぼ確実となりました。1月31日に、日本高野連から「最終決定」の連絡が届くことになっています。

◇鵜飼教授に溶接学術振興賞 大学機械工学科の鵜飼隆好教授が、溶接学会の平成14年度溶接学術振興賞を受賞されました。また、日本設計工学会の名誉会員にも推挙されました。

いずれも、鵜飼教授が北海道大学教授として勤務した平成13年3月までの研究活動が評価されたものです。

◇高校生1人に後藤サヅ子先生奨学金 昨年8月、火災で自宅を全焼した高校生1人に12月12日、後藤淳理事長から奨学金が贈られました。

◇パレードコンテストで銀賞 高校吹奏楽部は昨年11月24日、千葉市美浜区の幕張メッセで開かれた第15回全日本マーチングフェスティバル・パレードコンテスト高校の部で、見事、銀賞に輝きました。

◇高校新校舎屋上に太陽光発電設備 タテ129センチ、ヨコ99センチ、厚さ36センチの太陽電池120枚が屋上に設置されました(写真)。エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と共同で5年間、約20キロワットを発電、データの測定などの調査・研究が続けられます。2月から発電開始の予定です。



二〇〇二年秋 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました

六年連続の総合優勝飾る

中部日本学生スキーで全種目制覇

第48回中部日本学生スキー選手権が一月八日から十日まで、長野県・白馬村の岩岳西山スキー場で開かれました。8大学が参加する男子1部で愛工大チームは、全7種目制覇を達成して六年連続六度目の総合優勝を飾りました。



に大回転で長瀬が優勝して波に乗り、回転、スーパー大回転、クロスカントリー10キロクラシカル、クロスカ

写真は①スーパー大回転の丸山三朋選手
②大回転の長瀬大護選手③距離複合の岩原明生選手(①③は中日新聞提供)



◆第48回中部日本学生スキー選手権の記録

【男子1部】▽大回転(全長1191.4㍎、標高差276㍎、最大斜度43.9%、平均斜度22.7%、旗門数29)①長瀬大護(3年)54秒94②大森義之(3年)55秒88⑤大口潤(2年)56秒76⑥丸山三朋(2年)56秒96▽回転(全長646.4㍎、標高差158㍎、最大斜度43.9%、平均斜度24.4%、旗門数=1本目44、2本目43)①大森義之(3年)1分21秒83②長瀬大護(3年)1分23秒64⑥丸山三朋(2年)1分25秒47▽スーパー大回転(全長1191.4㍎、標高差1029㍎、最大斜度43.9%、平均斜度22.7%、旗門数20)①丸山三朋(2年)51秒48②長瀬大護(3年)51秒67③大森義之(3年)51秒89▽クロスカントリー10㍎クラシカル ①辻実(3年)39分28秒1 ②岩原明生(1年)40分16秒7 ⑤山本雄也(4年)44分14秒6▽クロスカントリー15㍎フリー ①岩原明生(1年)52分5秒5 ③辻実(3年)55分46秒0 ⑥山本雄也(4年)59分27秒9▽距離複合 ①岩原明生(1年)1時間32分21秒5 ③辻実(3年)1時間35分14秒0 ⑤山本雄也(4年)1時間43分41秒9▽リレー(5㍎×4人) ①愛工大(山本雄也、岩原明生、辻実、今村寿利)1時間13分1秒1

◇大学別得点 ▽1部 ①愛工大 189点

総合優勝の中心・大野美穂選手



平成14年度愛知県高校スキー選手権大会兼第52回全国高校スキー選手権(インターハイ)県予選会が一月四日から六日まで、長野県の杓池高原スキー場で開かれました。

名電高チームは、男女ともノルディック種目に実力を発揮。リレー(男子40㍎、女子15㍎)でアベック優勝したほか、女子は今シーズンにアルペンから転向の大野美穂選手(2年)がクロスカントリー5㍎フリーで優勝するなど総合でも初優勝を飾り、男子も総合4位に入りました。女子の総合優勝は、平成四年に普通科が男女共学化されて以来初めてです。

全国高校スキーのノルディック種目は二月三日から七日まで、岐阜県・鈴蘭高原スキー場で開催されることになっています。

高校女子が県大会で初の総合V

スキー 男子も4位に食い込む健闘

ノルディックフリー、距離複合、リレー(20㍎)の7種目すべてに優勝するという快挙を成し遂げました。

大学別得点でも189点を獲得して総合優勝、2位・金沢工業大学に111点差をつけての圧勝でした。

◆愛知県高校スキー選手権大会兼第52回全国高校スキー選手権(インターハイ)県予選会記録

【男子】▽クロスカントリー10㍎クラシカル ⑤大野祥平(3年)35分29秒※⑥水野恭宏(3年)35分50秒▽40㍎リレー(10㍎×4人) ①愛工大名電※(水野恭宏、大野祥平、太田喜夫=以上3年、伊東重信=2年、補欠・山木徳之、久米崇亮=以上2年)2時間40分16秒▽15㍎フリー ⑥太田喜夫 56分21秒

【女子】▽クロスカントリー5㍎クラシカル ②大野美穂(2年)30分15秒※④川合くらら(1年)32分17秒※⑥中野宏美(1年)34分41秒▽クロスカントリー10㍎フリー ①大野美穂 38分06秒※④中野宏美 44分48秒※⑥川合くらら 48分08秒▽15㍎リレー(5㍎×3人) ①愛工大名電※(大野美穂、川合くらら、中野宏美)1時間39分18秒◇総合【男子】④愛工大名電【女子】①愛工大名電 ※はインターハイ出場者

大学野球 7季ぶりに1部へ復帰!

愛知大学野球の1、2部入れ替え戦が昨年11月9日から13日まで、豊田市の中京大学グラウンドで行われました。1部5位の東海学園大学と対戦した2部2位の愛工大チームは、入れ替え戦としては史上初めて、第5戦までもつれ込む激戦を展開。結局、2勝1敗2分で東海学園大に競り勝ち、7シーズンぶりの1部復帰を決めました。奥田好弘監督は「今後一層、チーム強化に努め、優勝して神宮へを目標に努力します」と話していました。



抱き合って喜ぶナイン

【成績】●愛工大1-9東学大、▽愛工大1-1東学大、○愛工大10-0東学大、▽愛工大3-3東学大、○愛工大 4-1 東学大

全日本大学・東海学生両駅伝の記録
(※印は区間1位、マル数字は学年)

	区間	距離	選手名・学年	タイム
全日本大学駅伝	1区	14.6 [*]	両角 明彦④	45:21
	2区	13.2 [*]	富田 泰弘④	41:21
	3区	9.5 [*]	桐山 幸祐③	30:10
	4区	14.0 [*]	滝川 真④	44:39
	5区	11.6 [*]	有馬 武彦④	36:31
	6区	12.3 [*]	吹田 雅人③	38:48
	7区	11.9 [*]	竹中 裕紀①	37:34
	8区	19.7 [*]	角崎 貴史④	1:03:56
東海学生駅伝	1区	8.8 [*]	竹中 裕紀①	26:47
	2区	6.9 [*]	滝川 真④	21:08
	3区	9.2 [*]	吹田 雅人③	28:16
	4区	12.6 [*]	両角 明彦④	38:10
	5区	7.7 [*]	堀 貴博①	23:48
	6区	9.5 [*]	富田 泰弘④	※29:39
	7区	9.8 [*]	桐山 幸祐③	※30:04

執念実って「たすき」つながる

全日本大学駅伝 11回目の出場で念願達成

三年連続 11回目の出場となった秩父宮賜杯第34回全日本大学駅伝対校選手権が昨年十一月三日、午前八時二分スタートで名古屋・熱田神宮から三重・伊



二〇〇二年秋

おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました

⑤熱田神宮前を一齐にスタートする選手たち⑥初めてたすきがつながり取材を受けるアンカー・角崎選手



勢神宮までの八区間、一〇六・八^{*}で行われました。愛工大チームは「前回は順位にこだわり、今回はたすきつなぎを可能にする布陣」(有田哲治監督)で臨み、全選手が監督の意気込みを受け継いで力走。全区間ともトップとの差を10〜15分以内に維持して繰

2年連続4回目のV
第64回東海学生駅伝
「出雲」出場権も獲得

り上げスタートなしに走り抜き、出場11年目で初めて念願だった「たすき」を



つなぐことに成功しました。記録は5時間38分20秒で、18位でした。



④2位でたすきを受ける5区堀選手⑤桐山選手の2連覇ゴール

第64回東海学生駅伝競走大会が十二月一日、愛知県半田市の成岩中前から武豊町・川崎製鉄グラウンドまでの七区間、六四・五^{*}のコースで行われました。愛工大チームは3時間17分52秒で二年連続4回目の優勝を飾るとともに、来年十月の体育の日に行われる第15回出雲全日本大学選抜駅伝競走(六区間、四四^{*})の出場権も獲得しました。愛工大チームは、4区終了時はトップ四日市大チームに11秒差を付けられ、3位名大との差もわずか1秒でした。しかし、その後はジリジリと追い上げ、6



写真上は強豪・奥選手(警視庁)と対戦する丸山選手④

大学フェンシング

全日本エペ団体
2位の大健闘!

第55回全日本フェンシング選手権大会が昨年11月28日~12月1日、静岡県伊東市の南中体育館で開かれ、愛工大チームは男子エペ団体戦で準優勝に輝きました。大会には、全国の強豪16チームが参加。愛工大チームは順調に勝ち上がり、決勝にこまを進めましたが、優勝候補筆頭の警視庁チームに45-28で敗れました。優勝は逃したものの、横井浩治監督は「ここまでこれとは思っていませんでした。みんな、本当によく頑張ってくれました」と、選手の活躍をたたえていました。

【成績】▽1回戦 愛工大 44-34 静岡大 ▽準々決勝 愛工大 45-43 中央大 ▽準決勝 愛工大 45-44 東京フェンシングスクール

右から梅本健志③、富田弘樹①、久保田康弘④、丸山秀一朗④の各選手(マル数字は学年)



リストラの不安解消に一役 専門学校 地域の人対象にPC教室

特別な技術を身につけ、突然のリストラ通告などに備えておいてもらおうと、豊田市産業労政課は昨年秋、「中高年齢者職業能力開発教室」として。パソコン、造園、木工の三コースを開講しました。このうちパソコンコースは、愛工大



熱心にパソコン操作を学ぶ受講生たち

情報電子専門学校二階の実習室が会場となり、二十人の受講者が熱心にキーボードやプログラム操作を学びました。リストラは、まず高齢者が対象になります。大半の人が得意な技術を持ってお

二〇〇二年秋 おかげさまで名古屋電気学園は創立90周年を迎えました

らず、転職や再就職がスムーズにいかないケースが多いため、中高年齢者にまず技術を身につけてもらうというのがこの教室開講の狙いだそうです。専門学校は、パソコンコースの会場と講師を担当。十月二日から前半四回はワード、十一月二十六日までの後半

紅葉まつただ中で愛工大駅伝

大畑小児童もリレーで特別参加

大学キャンパスを周回してスピードを競い合う第22回愛工大駅伝大会が昨年十



一斉にスタートする大畑小児童

一月八日、一〇八チーム、四百五十七人が参加して開かれしました。風の冷たいあいにくの天候でしたが、キャンパス内の木々は紅葉真っ盛りで雰囲気は抜群でした。

選手権の部(三・五キロを四人で四周)に五十六チーム、オープン・コースの部(二・二キロを四人で四周する)に四十チーム、教職員か女性を少なくとも二人は加えたメンバー編成が条件となる学術交流の部(二・二キロを五周)には十二チー

感動テーマに附中学校祭 英語劇、合唱など多彩に



四回はエクセルの実習が行われました。河合忍・助教が指導を担当しました

附属中学の学校祭が昨年11月7日、名古屋市東区の東文化小劇場で開催されました。テーマは「感動」。「卒業」や「ワールドカップ」を題材にした英語劇や弁論大会が行われ、クラス対抗の合唱コンクールでは、バケツやペットボトルなど手製楽器による伴奏も披露されました。=写真。

が、定員二十人に対し百二十三人が応募するという人気がぶりでした。



重くて走れません！

ムが参加しました。各種目に参加者たちは自慢の足を披露、特に学術交流の部では、受けを狙った飾り物を担いでの走り「写真」が見物客を沸かせていました。また、近くの大畑小の児童三十八人(五年生十七人、六年生二十一人)も特別に参加。一・一キロのコースを五区間に分け、八チーム(うち二チームは一人で二区間走行)でリレー競走をしました。

編集後記

厳しい寒さの中で、新しい年が明けました。明けましておめでとうございませう。今年も「学園だより」のご愛読、よろしくお願ひします▼年明けとともに入試シーズンは本格化、関係部署はいよいよ正念場を迎え、忙しさに拍車がかかってきたようです▼厚生労働省によると、平成十四年の新生児は百十五万六千人。前年に比べ、一万五千人減っているそうです。少子化傾向は、ますます顕著になっていくのでしょうか▼この子たちが受験生となる十数年後、わが名電高校として愛工大はどんな状況になっているのか、なかなか見えてきません▼後藤理事長の年頭あいさつにもありました。少子化への対応は急務です。学びやすい環境づくり、そして学生や生徒への充実したサービスの提供▼方法は色々あるでしょうが、数ある学校の中で子どもたちの心を引きつける「何か」を見つけていくことが重要です▼生き残りをかけたサバイバル戦は、すでに始まっています。頑張るしかありません(柳)